

各関係機関の長 殿

鹿児島県病虫害防除所長

令和2年度技術情報第2号（果樹カメムシ類）について（送付）

このことについて、今後の防除指導の参考にしてください。

令和2年度技術情報第2号

1 対象害虫 果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ，ツヤアオカメムシ）

2 対象作物 ナシ

3 発生地域 県本土

4 発生量 多

5 情報の内容

果樹カメムシ類の予察灯での誘殺虫数が平年より多い。今後、果樹園へ飛来し吸汁加害する恐れがあるので、こまめに園内外をよく見回り注意する。

6 情報の根拠

（1）予察灯での誘殺虫数が5月第2半旬から急増している。チャバネアオカメムシ，ツヤアオカメムシとも平年より多い。

（2）予察灯での誘殺虫数は、特に、チャバネアオカメムシが出水市美原町の予察灯で、ツヤアオカメムシが南さつま市加世田の予察灯で多い（図1）。

7 防除上注意すべき事項

（1）果実が吸汁被害を受けると奇形果となるので（図2），飛来を認めたら直ちに防除する。

（2）防除薬剤は、比較的残効の長いネオニコチノイド系薬剤または合成ピレスロイド系薬剤を選択する。合成ピレスロイド系薬剤は、ハダニ類の発生を助長する可能性があるため、散布後はハダニ類の発生に注意する。

（3）防除にあたっては、薬剤の使用回数や使用時期に注意する。

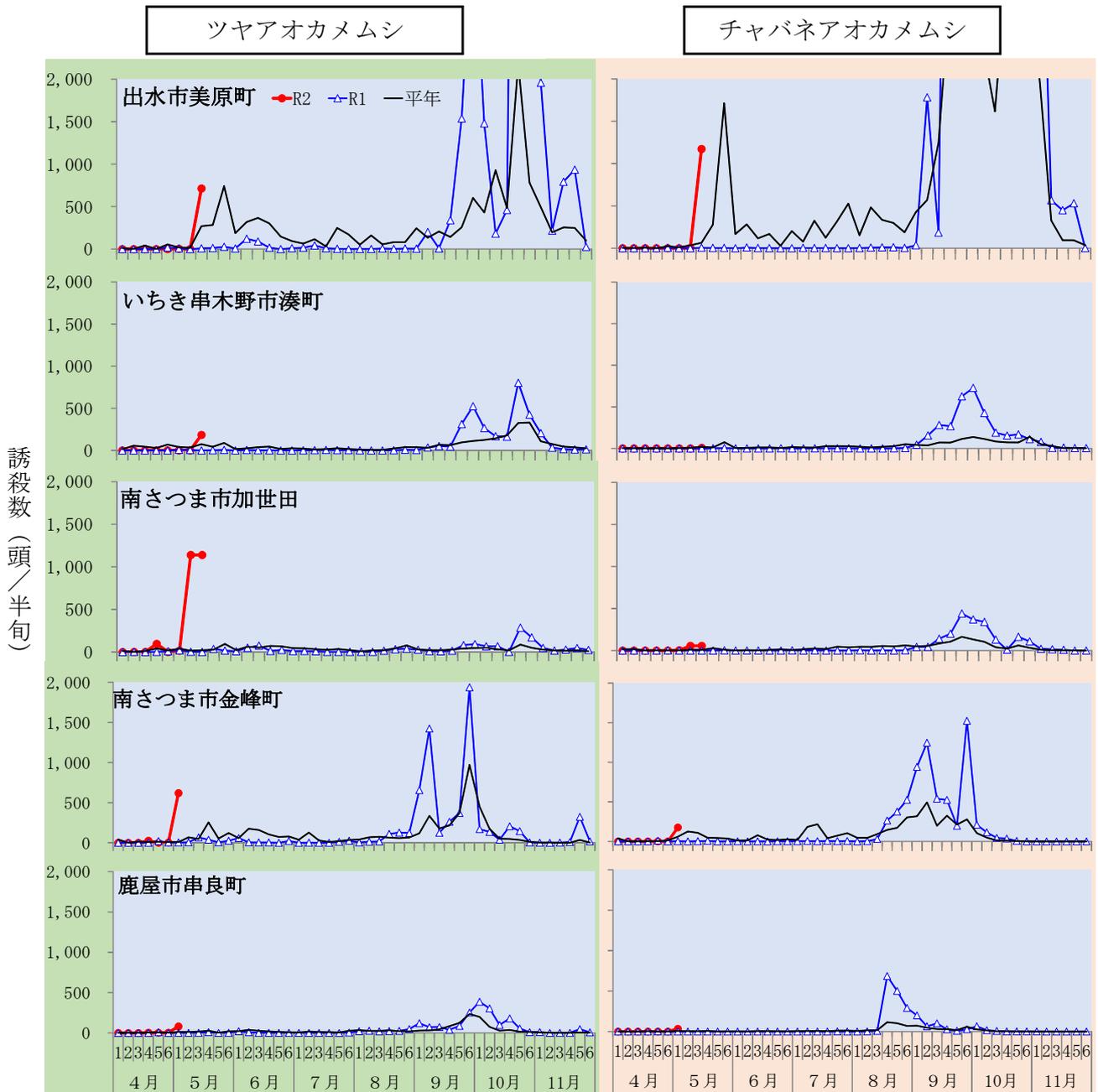


図1 予察灯での果樹カメムシ類の誘殺虫数の推移

注) 平年：南さつま市金峰町と鹿屋市は過去10年間の平均値，他は過去9年間。



図2 カメムシ類によるナシ幼果の被害